

此

七月十九日大本營着電

奥大将

去ル六日ヨリ九日ニ直リ蓋平附近ノ戦闘ニ於ケル我
死傷者左ノ如シ



負傷 陸軍少将 小泉正保

歩兵少佐 岩崎初太郎

歩兵中尉 岩山長彦

歩兵少尉 森田貞助

全 谷口 宍

戦死 下士以下二十四名

負傷 全 百二十四名

死傷計 百五十三名

七月廿七日午后大本營着電

奧 大將

軍ニ支隊ハ廿五日營口ヲ占領セリ營口停車場ノ諸建
築物ハ悉皆破壊セラレ同地ニ在リシ露國船舶ハ凡テ
遼河上流ニ逃レ其守備兵ハ東北ニ退却セリ又遼河ニ
中立國船舶自由ニ出入シアリ

左

軍ハ廿五日右翼部隊ノ猛烈ニ次キ天明ヨリ敵ノ陣地ヲ
砲撃セシモ二十四日ノ如ク猛烈ニ應射セズ依テ午前六時
過攻撃前進ヲ開始セシニ敵ハ今ヤ退却ヲナレシツアルモノ
如シ依テ直ニ之ヲ追撃シテ大石橋以北ニ前進セリ
敵ハ正午頃其大縱隊ノ後尾ヲ以テ大石橋ヲ通過シテ北
方ニ退却シ大石橋及牛家屯附近ハ目下盛シニ燒ケツアリ

0121

青石山附近ノ敵ノ陣地ハ其工事頗ル堅固ニシテ田家此ニ
道河子間約四里ニ亘リ巧ニ地形ヲ利用シテ壘壕砲台
副防禦等ヲ構築セリ
聞ク所ニ據レハ露國軍艦ヲブローケレハ武装ノ俣田庄台
ノ上流二十清里ノ遼河ニ碇泊シアリト

0122

二十四日大石橋附近戦闘に於て死傷將校

戦死

砲兵少佐 石川嘉三郎

歩兵大尉 永井成太郎

歩兵大尉 坂戸直吉

歩兵大尉 井上 勝

砲兵大尉 森 秀吉

歩兵中尉 小河 義夫

砲兵中尉 國川 完吉

砲兵少尉 久吉 道雄

計 八名

傷者

砲兵少佐 武内 順次

砲兵少佐 川瀬 房四

歩兵少佐 千秋 勸

歩兵大尉 中村 恒太

砲兵大尉 川尻 露太郎

歩兵中尉 松岡 喜作

歩兵中尉 二神 義治

砲兵中尉 前田 實

砲兵大尉 岩井有二郎
 砲兵中尉 三宅守彦
 砲兵中尉 久保田鉄藏
 歩兵少尉 武永鉄之助
 歩兵少尉 高田浅太郎
 歩兵少尉 トキナカラウメケ
 歩兵少尉 折田有倫
 歩兵少尉 窪津義雄
 歩兵少尉 吉沢美代作
 歩兵少尉 藤岡録三郎

計 二十七名

砲兵中尉 大田和三郎
 砲兵少尉 名倉定賢
 砲兵少尉 池田正
 砲兵少尉 吉見隆治
 砲兵少尉 黒江敬吉
 砲兵少尉 大迫新吉
 一等軍醫 阪本静一
 三等軍醫 河野慶輝
 三等主計 香村英太郎

七月二十八日午前大本營着電

奧大將報告

大石橋附近ノ戰鬪ニ於テモ敵ハ鑿行ヲ極メ
就中二十四日青石山東南方ノ戰鬪ニ於
テ午後九時山西頭北方高地ニ向ヒ突撃手
レタル歩兵某聯隊ノ一部隊ハ格闘ノ結果
一時其陣地ヲ離レタルニ際シ敵ハ我戰死者
ノ左眼ヲ抉リ門歯ニ枚ヲ碎キ其眼腔ニ
土ヲ充實シ又口ノ内ニ石及布片ヲ填實シ

0125

タ
ル
モ
ノ
名
一
名
ア
リ

0126

大石橋附近戦闘死傷將校
 第二軍各醫部長報告

戦死

砲兵少佐 石川嘉三郎
 歩兵大尉 永井成太郎
 歩兵大尉 坂戸直吉
 歩兵大尉 井上勝

計 八名

砲兵大尉 森秀吉
 歩兵中尉 小河義夫
 砲兵中尉 國川完吉
 砲兵少尉 久吉道雄

傷者

砲兵少佐 武内順次
 砲兵少佐 川瀬房四
 歩兵少佐 千秋勸
 歩兵大尉 中村恒太

砲兵大尉 川尻露太郎
 歩兵中尉 松岡喜作
 歩兵中尉 二神義治
 砲兵中尉 前田實

砲兵大尉岩井有一郎
 砲兵中尉三宅守彦
 砲兵中尉久保田鉄藏
 歩兵少尉武永鉄之助
 歩兵少尉高田浅太郎
 歩兵少尉トキナカヲウケ
 歩兵少尉折田有倫
 歩兵少尉窪津義雄
 歩兵少尉吉沢美代作
 歩兵少尉藤岡録三郎

計 二十七名

砲兵中尉大田和三郎
 砲兵少尉名倉定賢
 砲兵少尉池田正
 砲兵少尉吉見隆治
 砲兵少尉黒江敬吉
 砲兵少尉大迫新吉
 一等軍醫阪本静一
 三等軍醫河野慶輝
 三等主計香村英太郎

七月二十八日午後大本營着電

奧大將報告



二十三日午前四時軍ハ蓋平附近ノ陣地線ヲ出發ス各縦
隊ハ共ニ少數ノ敵ヲ撃退シテ流象溝ヨリ花兒山ヲ經テ
五台山附近ニ直ル線ヲ占領セリ此日軍ノ左翼方面ニハ
騎砲兵各一中隊ヲ有スル敵ノ歩騎兵若干部隊アリテ
屢々抵抗セリ
軍ハ占領シタル陣地内ニ闕進シ戰備ヲ嚴ニシテ明日ニ
於ケル總攻撃ノ準備ヲナセリ
二十四日未明軍ノ右翼タル諸東隊ハ相連繫シテ運動
ヲ起シ大平峯及其西方百八十ノ高地及其西方地区
ニ向ヒ前進シ午前八時頃草草甸北方高地ヨリ百八十

高地ヲ経テ孫家北方高地ノ東側ニ直ル線ヲ台領ス
此時敵砲兵ハ大平峯、辺汗溝、鄭家溝附近ノ高地ヨ
リ盛ニ我ニ向テ射撃ス我砲兵ハ地形困難ノ爲メ未ダ
元会之レニ應戦ニ得ヘキ陣地ニ進入スルコト能ハザリキ
爰ニ於テ歩兵ハ掩蔽シテ陣地ヲ台領シ暫ラク時機
ヲ待ツニ至シリ

軍ノ中央專隊ハ右翼諸団隊ノ攻撃進捗ニ伴ヒ花兒
山附近ニアル砲兵ノ援助ヲ受ケテ午前十時頃孫家
北方高地ヲ台領セシモ青石山望馬台間ニアル多数ノ
敵砲ヨリ猛射ヲ受クルヲ以テ之レヨリ前進ヲ繼續セズ以テ右翼
団隊ノ前進及我砲兵ノ進捗ヲ待ツニ至シリ
軍ノ左翼団隊ハ初メ五台山附近ノ陣地ニテリシカ其右方ニ
ニ併列セル諸団隊ノ攻撃進捗ヲ見ルヤ午前九時其茅葎線

ヲ以テ牛家屯・劉白塔寺ノ線ヲ占領シ其砲兵団ハ大
平庄附近ニ陣地ヲ占メ盛ニ望馬台附近ノ敵砲兵
ト射撃ヲ交換セリ

0131

敵ノ本陣地右翼牛心山附近ヨリ青石山ヲ經テ太平峯附近一
 帯ノ高地ニ互リ連綿セル高地ニ數多ノ防禦地區ヲ形成シ其
 高地ハ全ク我カ攻撃地帯ヲ瞰制シ廣濶遠大ナル射界
 ヲ有シ數層ノ散兵壕ニ銃眼ヲ穿テ掩蓋ヲ作り且ツ所々
 ニ鹿柴鐵條鋼地雷ヲ設テ野戰的防禦工事殆ント完成セリ
 殊ニ其砲兵ハ巧ニ地形ヲ利用シ遠敵陣地ヲ占メ我ヲシテ殆ト
 其位置ヲ判断スルニ苦マシム之ニ對シ我カ砲兵陣地ハ至ル所不
 利ニシテ敵眼ニ暴露シ然モ其進入ハ極メテ困難ナリ然レモ
 各方面ノ我砲兵ハ艱難ヲ冒シテ屢々陣地ヲ變換シ以テ歩兵ノ
 攻撃ヲ援助スルニ力メタルモ地形斯ノ如クナルヲ以テ我砲兵ハ非
 常ナル苦戰ニ陥リ死カヲ盡シテ奮戰スルモ其效力不充分ニシ
 テ敵砲ヲ沈黙セシムルニ至ラス軍司令官ハ飽ヲテ攻撃ヲ遂行
 セントシ右翼諸團隊ニ損害ヲ顧ミズ突撃前進スヘキヲ命ス

此等ノ諸團隊ハ猛烈ナル敵ノ砲火ヲ冒シテ前進セシモ地形
 不利ニシテ敵ノ本陣地ノ一部ヲモ奪取スルニ至ラスシテ日没トナ
 レリ殊ニ突撃隊ノ一部ノ如キハ非常ノ勇氣ヲ以テ一タヒ敵陣
 地ニ突入セシモ其陣地頗ル堅固ニシテ然モ優勢ナル敵ニ逆襲セ
 レ再々旧位置ニ引退スルヲ止ムヲ得サルニ至レリ
 情況斯ノ如クニシテ彼我ノ砲聲ハ日暮ト共ニ自然ニ中止セラレタリ
 但敵ノ砲兵ノ一部ハ午後九時迄時々我ニ向ヒ搜射セリ右翼團
 隊ノ司令官ハ軍司令官ノ意圖ヲ実行スル為メ遂ニ夜襲ヲ
 行フノ決心ヲ取レリ軍司令官ハ此處置ヲ是認セラレテ右翼團隊
 ノ司令官ハ午後十時頃ヨリ其歩兵ノ大部ヲ集テ断然之ヲ決行
 セリ該團隊ノ歩兵ハ猛然トシテ勇進シ太平岑附近ノ堅固ナル敵
 陣地ニ突入シ遂ニ其第一堡壘ヲ奪取シ多数ノ損害ヲ蒙リタルニ
 拘ラス更ニ勇ヲ鼓シテ第二堡壘ニ突進シテ之ヲ占領セリ時ニ二十日午前
 三時ナリ

右翼部隊ニ隣接セル諸部隊モ亦之ニ續テ山西頭附近ノ高
 地ヲ台領ス
 翌天明ト共ニ卧龍崗附近ニ在ル我砲兵ハ先ツ當面ノ敵ニ向
 ヒ砲撃ヲ開始セリ然ルニ敵情前日ト異ナルヲ以テ該部隊ハ
 直ニ前進シテ青石山ヲ台領ス
 左翼部隊ハ右翼部隊ノ情况ヲ知ルヤ直ニ前進シテ牛
 心山橋台鋪ノ線ヲ台領セリ
 騎兵ハ軍ノ左側ニテ行動シ騎砲兵ヲ有ル優勢ナル
 敵騎ニ對シテ能ク我側背ヲ掩護セリ
 敵ノ主力ハ大石橋街道ヨリ一部ハ其東方ヨリ海城方
 向ニ退却シ其後備ハ我砲撃ヲ受ケテ午前十一時過大
 石橋ヲ通過セリ軍ハ各縱隊ノ先頭部隊ヲ以テ之ヲ追撃
 シ次テ大石橋ハ其附近ヲ台領セリ

我對^ニ敵^ハ茅一[、]茅二[、]茅九[、]茅三十五師團及西伯利
豫備師團^ニ屬スル部隊^ニシテ其砲教^ハ約百二十門
ナルカ如シ

捕虜將校ノ言^ニ依レハ滿洲軍總督^ハ只トキシモ戰場在
リ而シテ^コサハ^ロフ^レ中將^ヲコシド^ラド^ウイ^ツケ^シ少將^負傷^セリト又諸
情報^ヲ綜合^スル^ル敵^ノ死傷^ハ少クモ二千^ヲ下^{ラス}我^ノ死傷^將
校以下^千名内外^{ナリ}戰利品^及捕虜^{若干}取調^中ナリ
敵^ハ我^ヲ追撃^スル^ル頗^ル狼狽^ヲ極^メテ退却^セリ察^スル^ル敵^ハ
青石山^{附近}陣地^ヲ堅固^ニ台^領シ此^ニ決戰^ヲナ^サント企^テタ
ルモ[、]如^シ然^ルニ[、]夜半^ニ至^リ俄^ニ退却^ヲ決行^シタル^ノ形跡^{アリ}
其原因^ハ我^ノ右翼^ノ強襲^ニ依^リ彼^ノ左翼^守ヲ失^ヒシカ
為^{ナル}リ如シ

七月廿八日午前大本營着電

奧大将報告

廿六日敵ハ出テ虎樟屯附近ニ位置シ其砲兵約二中队ハ
全地東方金山峯ニ現レ俵家溝附近ヲ砲撃セリ軍
敵情ノ偵察中ナリ

七月廿八日午後大本營着電

奧大将報告

蓋平海城街道上虎樟屯附近ノ敵ハ退却シ廿七日温
家溝附近ニ約六中队ノ敵騎東揚樹溝附近ニ騎
砲兵一中隊ヲ有スル騎兵部隊アルニ又營口方面ヨリ退

打ニタル敵兵ハ紅瓦塞附近ニ停止シタルモノ、如シ
軍ヨリ派遣セル營口守備隊ハ二十六日夜談地ニ到
着シ先ニ全地ヲ台領セル我騎兵ト交代シ市内ニ入
テ警備ニ任ス

0137

作戦

八月四日大本營着電

栃木城攻撃軍報告

七月三十日栃木城附近ノ戦閉後山谷間ノ於テ敵ノ委棄セ
 ル屍体約七百ヲ発見セ其内將校ノ屍体ハ特ニ禮ヲ厚クシテ之ヲ葬ル
 捕虜及ヒ五人ノ言ニ依ルハ戦閉間及ヒ三十一日夜ニ於テ敵
 後送セシ死傷者ハ頗ル多大ナルモノ、如シ此戦ニ於ケル
 敵ノ全死傷者ハ二千ヲ下ラサルヘシ
 我死傷ハ將校以下八百六十名ニシテ其詳細ハ尤ノ如シ
 戦死

步兵大尉 富山辰雄

藤原秀二

中尉 野中一郎

左 輕 重 微 輕
傷 傷 傷 傷
負 傷

砲	左	左	左	步兵	下	左	左	左	左	步兵
兵				兵	士					兵
大				少	以					少
尉				佐	下					尉
藤	坪	菅	又	和	百	木	上	矢	吹	松
田	井	森	森	田	八	村	野	田	野	崎
嘉	善	文	信	音	名	名	政	美	善	省
平	藏	夫	吉	五	名	政	次	郎	男	輔
			郎	郎		郎				郎

0139

輕傷

重傷

輕傷

全

步兵少尉 岸 邦太郎

砲兵少尉 大江 亮一

步兵特務隊長 井 尻 順三

全 田 坂 竹之進

全 田 中 亮次郎

砲兵特務隊長 竹 本 直哉

計 二十四名

下士以下 六百四十二名

鹵獲品 野砲六門、砲彈五百七十、小銃六十三

彈藥九百八十、土工具百八十、麥粉八百九十石大

麥五百石、外套百三十三、其他の取調中

捕虜 下士以下三十三名、尚増加の見込ナリ

戰場に残留の敵、救護負書翰ヲ附シ海城へ送還セリ

八月四日大本營着電

奧大將報告

昨日未敵ハ北方ニ退却ヲ續行ス厚ハ三日
正午頃海城及ニ牛莊ヲ占領セリ



0142

作戰班

源

戰

八月四日大水營着電

奧大將報告

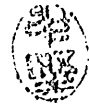
八月一日午前四時軍ハ大石橋附近ノ陣地線ヲ發シテ前進
ス茅二縱隊ハ敵ノ抵抗ヲ受クルニナク午前九時頃南尖
山附近ノ陣地ヲ台領シ茅一縱隊ハ午後一時當面ノ敵
攻撃手シテ梁家堡子附近ノ高地ヲ台領セリ茅三縱
隊ハ午前五時金山領附近ノ高地ヲ台領シ前日未
敵ノ台領セル土台子東方高地ニ向ヒ砲兵ヲ以テ偵察
戦ヲ試ミシニ敵ハ退却セルモノ如シ依テ直ニ前進シ午前
九時半頃他山浦西北方高地附近ヲ台領セリ此時
敵ノ砲兵約ニ中隊葫芦峪東北ノ高地ニ現ハシ茅二縱隊及
茅三縱隊ノ歩兵ニ向シ盛ニ射撃ス暫クシテ茅二縱隊砲兵

八重家溝東北方高地ニ茅三縦隊ノ砲兵ハ温家溝附
 近ニ砲列ヲ敷キ之ニ應戦ス午前十時三十分別ニ敵ノ砲兵
 一中隊下夾河南端ニ現ハレ我々茅三縦隊ノ歩兵ニ向ヒ射
 撃セシカ何トモ正午過キ陣地ヲ撤シ海城方向ニ退却セリ
 茅四縦隊ハ途中少敷ノ敵ヲ歩騎兵ヲ駆逐シテ午前十時頃茅三
 縦隊左翼ヨリ趙家屯ニ直ル線ニ達セリ其前面ニ騎砲兵
 約一中隊ヲ有スル敵ノ騎兵五六中隊紅瓦寨附近ニテ我々歩
 兵ニ向ヒ若干ノ射撃ヲセシカ正午頃海城方向ニ退却セリ
 茅五縦隊ハ劉家堡子、連三屯ニアル敵ノ歩騎兵ヲ撃退シテ該地
 ヲ台領セリ
 我々對シテ敵ノ兵力ハ統計約一師用ニテ其主力ハ午前十時前後ニ於テ
 唐王山西麓ヲ至テ海城方向ニ退却セリ

軍ハ斯ノ如ク大ナル敵ノ抵抗ヲ受ケルコトナリ二百八里河ノ線ニ前進シ
翌三日正午頃海城ヨリ牛莊ニ至ル線ヲ台領セリ
此ノ日海城ヨリ東北ニ向ヒ退却ヒシ敵ハ約ニ師団ナリキ

0145

59



八月六日午後大本營着電

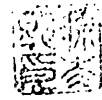
第一軍

敵艦コシグーチニ武装ヲナシタル倭牛莊西北八家子
附近、遼河ニ於テ自ラ破壊シタリ

0147

14

八月七日午前大本營着電



黒木大将報告

去ル三十日ヨリ一日ニ且ル様子迄及榆樹林子附近戦闘ニ於テ捕獲シタル敵兵ハ次ノ如シ

健康者

第百二十一聯隊

第四大隊長大尉

ボルツイジョーフ

同 大隊副官少尉

ナスターウ井ン

第十三中隊長大尉

コブララノフ

第百二十三聯隊

第二中隊長大尉

クロパトフ

戦野第三大聯隊

第五中隊長大尉

ガンスキー

下士卒

百四十八名

0148

負傷者

戰列第三大隊隊長中佐サウウリ

同第三聯隊少尉一名

第三聯隊大尉一名

下士卒百十二名

合計 二百六十名ナリ

又我軍ニテ埋葬セシ敵ノ屍體ハ將校六下士卒五

百〇六ナリ

電報

電報

八月二十日

大東洋航

在望口

共名少佐

本日港外約二千哩ノ沖ニ本帆檣ノ帆前私
馬丸ヲ臨時帆名私トナシ置キ已ニ今晩ヨリ
真澄雲極ヤリ右帆名私ノ位置ニ北緯四十五
度五分東経約二二度ナリ又ラレバ三個アリ
皆白色燈ニシテ約三尺ノ距離ヲ保テ上ヨリ一
直線ニ吊レアリテ天光好キ時ハ五哩ノ距離ヨリ
見ラレ得ヘシラレバノ高サハ満潮ノ時水面ヨリ
約四呎ニシテ中帆檣ノ上ニアル燈名私標示

ノ積算廿七午三吹テリ右夫々当局者へ通知
せりし事し

0151



九月二日午前大本營着電

中央軍參謀長

軍ハ第一線ヲ以テヲテプジフヨリ東八里庄ヲ經テ
西八里庄ノ線ヲ占領セリ
本日(二日)ハ尙ホ前進ヲ續行シ成シ得レハゴシテ
エシヨリ遼陽方面ニ互ル線ヲ占領シ左翼軍ノ
運動ニ聯繫セントス

0152

自八月三十日
至九月四日
遼陽附近
第三軍
戰鬥報告

秘



任
野
月
日

0153

自八月三十日遼陽附近第二軍戰鬥報告

第一線(首山堡附近)の攻撃

八月三十日軍人首山堡附近の敵の攻撃する目的ヲ以テ第三師團ヲ右翼第六師團ヲ中央、第四師團ヲ左翼トシ午前五時沙河ノ線ヲ發シテ前進ス

午前六時三十分第三師團先頭櫻桃園西北ノ部迄ヨリ頭崖子ニ至ル線ニ達セシテ首山堡南方鞍部附近ヨリ敵ノ砲兵約ニ中隊我ニ向テ射撃ヲ開始ス此時第四軍方面ニ當リ稍々盛ナル砲聲ヲ聞ク

諸偵察ニ依ルニ敵ノ陣地ハ首山堡西方及南方高地、新立屯西方高地、方家屯東方高地、且リ極メテ堅固ナル堡壘ヲ設ケ且ツ其周圍ニ多数ノ鉄條網アリ第三師團ハ之ヲ正面ヨリ攻撃スルノ不利ナルヲ以テ首力ヲ以テ黒牛庄東方高地ヨリ先ツ新立屯西方高地ノ東南山角ヲ攻畧セントシ午前七時頃ヨリ砲撃ヲ開始シ第五師團ノ左

翼ト近ク相連繫シテ攻撃準備ヲス第六師團、道疏不
良ノ為メ行進遲滞シ其第一線ハ午前十一時頃大趙家台
東南及東北部迄ニ達シ次テ其砲兵ノ大部ハ到着シテ
首山堡東南方鞍部ノ敵砲ニ向ヒ射撃ヲ開始セ

午後一時頃第三師團ノ攻撃ハ大ニ進捗セシモ未ダ高地脚
ヨリ攀登スルコトヲ得ス第六師團ノ右翼ハ第三師團ノ左翼
ニ連繫シ其左翼ハ大趙家台附近ヨリ敵ノ右翼ヲ包圍シツ、
攻撃前進ス其砲兵ノ一部ハ未ダ戰場ニ到着セス
此時第四師團ノ主力ハ興降台附近ニ在リ騎兵旅團
ハ王仁屯附近ヨリ敵ノ側背ニ運動シ其野砲ヲ以テ
敵ノ側背ヲ威嚇セリ
午後四時頃敵ノ歩砲兵ハ益々増加横掃リ其右翼ハクウツヤジ

西北方部 砲落ニ直リ所々ニ機関砲ヲ備ヘ其抵抗頗ル頑強ナリ
 第六師團ハ全部ヲ擧ケテ攻撃ヲ続行セシモ燬ル苦戦ニ陥リ
 其左翼ハ著シク危峻ニ迫リタルヲ以テ第四師團歩兵ノ一部ヲ其
 左翼ニ増加スルノ已ムヲ得カレト至レリ
 之レヨリ先キ第三師團長ニ後備歩兵一聯隊ヲ属シ次テ徒
 歩砲兵一大隊ヲ増加シテ攻撃ヲ援助セシム談大隊ハ午後
 三時四十分頃櫻桃園ニ陣地ヲ占メ射撃ヲ開始セリ
 新立屯西方高地ノ東南角ヲ攻撃中ナル第三師團
 ノ右翼隊ハ方家屯高地ノ敵砲及正面突出部ノ角
 面堡ヨリ猛烈ナル側射ヲ受ケ一步モ前進スルコト能ハズ
 ルノ苦戦ニ陥レリ此ノ如クシテ第三第六師團ハ全カテ擧ケ
 テ攻撃ヲ続行スルモ敵ノ副防禦ト猛烈ナル歩砲火ノ為メ
 突撃ヲ行フニ至ラスシテ日没トナレリ此ノ夜多軍ハ夜暗ニ乘シ

副防禦ヲ破壞シ強襲ヲ決行シ若シ成功セザレハ更ニ拂曉
攻撃ヲ行フニ決ス此日我砲兵ハ直路不良ノ爲メ一齊ニ其
砲教ヲ配列スルコト能ハス故ニ終日ノ砲撃モ終ニ敵砲ヲ蓋
靡セシムルニ至ラリシハ大ニ遺憾ナリキ敵ハ此戦間輕氣
球ヲ以テ我運動ヲ觀察シ屢々其軍隊ヲ諸方面ニ行動セシ
メタルヲ以テ其企圖ノ決戦ニ在ルハキヲ察知シ充分ノ戒心ト
奮勵ヲ促シ

三十一日午前三時頃ヨリ第三師團ノ歩兵ハ猛烈果敢ナル夜襲ヲ
決行セリ拂曉頃其左翼タル歩兵第三十四聯隊ハ首山堡南方
高地ノ南部ヲ奪取セシメ前面及兩側ヨリ猛烈ナル射撃ト北部高
地ヨリスル優勢ナル敵ノ逆襲ヲ受ケ紛戦亂闘ノ後多大ノ損害
ヲ受ケテ高地脚ニ撃退セラレタリ
右翼隊モ亦非常ノ困難ヲ冒シ多大ノ損害ヲ顧ミテ前進セシモ副

防禦堅固ニシテ敵大猛烈且ツ高地ノ攀登頗ル困難ナルニヨリ終ニ高
地脚ニ伏卧シテ起ツコト能ハズ至レリ

第六師團ハ午前一時ヨリ屢々敵ノ逆襲ヲ撃退シ次々夜襲ヲ断
行セントシ猛烈ナル敵ノ機關砲火ヲ冒シテ終ニ敵ヲ鉄直線路迄壓
迫シ敵陣ヲ距ル五十乃至百米突ニ近接セシモ高地ノ敵ヨリ瞰
射セラレ損害甚クシク之レヨリ突撃ニ轉スルコト能ハスニテ天明ト
ナレリ其後第四師團歩兵約五大隊ハ第六師團ノ左方ニ展
開セシヲ以テ大ニ戦勢ヲ恢復セリ

午前七時後備歩兵第十一旅團長ニ其三大隊ヲ指揮セシ本道方面
ヨリ前進シテ第三師團ノ左翼隊ニ協力セシム

情況以上ノ如クシテ第三第六師團ハ全力ヲ舉ケテ攻撃ヲ続行シ又我全
野戦砲兵及徒歩砲兵隊モ各々有効距離ニ近接シテ猛烈ニ敵塁
ヲ砲撃セシカキ多ク以テ攻撃ヲ進路ヲ開クニ至ラズ而シテ前日ノ降雨ノ

為ノ彈藥車ノ運動困難ヲ極メ彈藥ノ補充ニ苦痛ヲ感シタ
リ

正午頃我徒歩砲兵ノ威力ハ大ニ發現シ新立屯西方高地ノ東
南部ハ著シク破壊セラレタリ此ニ於テ第三師團ノ右翼隊ハ獅子奮
迅ノ勇ヲ顯シテ敵堡壘ニ突入シ午後〇時三十分終ニ之ヲ奪取セリ
此ニ於テ一部ノ立脚地ヲ占ムルコトヲ得タルモ他ノ堡壘ノ敵ハ
依然頑強ノ抵抗ヲ爲シ且方家屯ノ敵砲兵ヨリ猛射ヲ受
ケ又前進スルコト能ハサルニ至リ正面及第六師團方面
モ亦同一ノ情況ニシテ前進ヲ絶統スルコト能ハサルニ至レリ
午後五時頃第四師團長ノ報告ニ依レハ午後三時頃兵力
未詳ノ敵ノ歩兵(若干ノ砲兵ヲ有ス)首山堡ノ西北約二里半
ノ「イタイ」ニ現ハレ南進中ナリト仍テ豫備兵第四師團ノ殘存
ヲシテ之ニ當ラシメタリ

騎兵旅団ハ第四師団ノ左翼ヲ前方ニ行動シ北方ノ敵ニ對シテ軍ノ左側ヲ掩
護シ且ツ遼陽方向ヲ搜索ス

午後七時ニ至リ軍ハ全砲兵ヲ擧テ齊ニ猛烈ノ砲撃ヲ加ヘタル後更強
襲ヲ断行スルニ決セリ此砲撃ハ敵ノ各堡塁ニ多大ノ損害ヲ與
ヘタルカ如シ

此夜各方面ノ歩兵ハ充分ニ準備ヲ整ヘ副防衛ノ破壊ニ勉メ終ニ勇
猛果敢ニ突撃ニ依リ第三師団ハ新立屯西方ノ高地ヲ第六師
団ハ首山堡西方標高99ノ高地ヲ後備旅団(突隊ニ増加ス)ハ
水道方面ノ高地ヲ全ク占領セリ時九月一日午前三時頃ナリキ
我ニ對セシ敵ノ兵力ハ歩兵約二師団(捕虜ノ言ニ依リハ西伯利豫備
隊三師団ノ全部担撃歩兵第五師団同第六師団ノ一部)砲約千
門ナリカ如ク午前三時我突撃ノ頃ヨリ漸次遼陽方向ニ退却セリ
後備歩兵ノ一部ハ之ヲ追躡シテ午前八時頃西八里庄附近ニ

連テ軍ハ第四師團ヲレテ之カ追撃ニ任シ首力ハ合領シタル陣地ニ集合整頓ス

此ノ戦闘ニ於テ我軍ノ死傷約七千敵ノ損害ハ多大ナルベク各堡壘附近ニ委棄セン死体モ数百ニ達セリ

追撃及第四師團(遼陽附近)ノ攻撃

九月一日第四師團ハ隊伍ノ整頓及諸準備ノ為メ時間ヲ費シ午後一時運動ヲ起スラ得タリ此時敗退シタル敵ノ大集團ハ停車場附近ニ在リテ午後四時頃ヨリ列車ハ貨車數ヲ増加シ続々退却中ナリ此時十「サンチ」加農砲隊ノ有効ナル追撃ニ依リ停車場附近ハ大混乱ヲ極メタリ午後五時頃第四師團ノ砲兵ハ尤家庄子附近ニ達シ「ジグウアン」西南側ニ在ル敵ノ砲兵ヲ射撃セシニ暫時シテ敵砲ハ沈黙セリ第四師團ハ尤家庄子東北方ノ村落ヨリ「ワンバオシヤン」附近ニ互ル線ヲ台領シテ遼陽附近ノ敵情

ヲ捜索ス軍ハ戰場附近ニ宿營シ翌二日ヲ期シ全力ヲ奉テ前進ニ決ス

九月二日午前七時第三師第六師團ハ前進ヲ起シ遂次第四師團ノ右方ニ連繫セントス諸情報ニ依テ敵ハ遼陽停車場西方ヨリシグウカンニ附近ヲ經テ遼陽南方ニ亘ル防禦工事ヲ掘リ更ニ抵抗ヲサントスルカ如シ仍テ直ニ之ヲ攻撃ス

午前八時頃第四師團方面ニ於テ先ノ砲戦起シ鐵道線路ニ沿テ前進シタル第三師第六師團ノ先頭モ直ニ展開シ第四師團ニ連繫ス第三師團ノ先頭ハ午前九時頃ヨリ十時ノ間ニシテスイリケンニ附近ヨリ西八里庄附近ニ連セリ其砲兵ハ西八里庄西南高地ニ砲列ヲ存キ午前九時四十分頃「クエン」ヤリンスイニ附近ノ敵砲ヲ射撃セリ午前十時第三師第五師團方面ニ砲声ヲ聞ク同十時三十分頃ヨリ第四師團ノ攻撃前進ニ移リ其第一線ハ東八里庄ヲテアジツレ線附近

ニ達セシラ知ル

諸報告ニ依ルニ敵ノ右翼ハ停車場西北方約一里ヨリ停車場西
南及シグウァンニ附近ヨリ遼陽南方ニ亘リ其中央及其以東ニ極
メテ堅固ナル堡塁アリテ防禦設備完備セルカ如此ニ於テ軍ハ
先ツ全砲兵ヲ以テ敵ノ砲兵及機關砲ノ撲滅ヲ圖リ以テ步兵ノ
第一線ヲ敵ニ近接セシメ充介敵ノ堡塁線ヲ偵察シ其防
禦工事ノ状況ヲ知悉スルニ勉メシム

正午頃第一師團ノ第一線漸次前進スルヤ敵ノ砲兵ニ中隊ハ揚
家林子東北方ニ現ハシ砲火ヲ開如シ更ニ一縱隊之ニ續
テ南進シ該方面ノ敵兵稍々増加シ其右翼ハ漸次西方ニ
延伸スルノ状アリ第一師團ハ益々攻撃ヲ力行セシモ
敵ノ抵抗頑強ニシテ戦闘持久ノ有様トナレリ此ノ

如クシテ全砲兵ハ砲戦ヲ継続セシモ敵ノ工事堅固ニシテ其抵抗
死守的ニ依リ終ニ突撃ヲ行フニ至ラズシテ日没トナレリ此夜第
四師團右翼ノ一部ハ一度シグウカン附近ノ敵塁ニ向ヒ突撃ヲ試
ミシモ副防禦機關砲ノ縦射ニ止阻セラレ目的ヲ達セズシテ引
退セリ

此日敵ハ停車場附近ニ放火セリ

三日拂曉ヨリ砲撃ヲ開始ス敵ハ依然頑強ノ抵抗ヲ継続ス我
野砲及臼砲ハ敵ノ小銃彈ノ達スル矣迄前進シ僅星及機關砲
ノ破壊ニ勉メシニ依リ一部ノ敵ハ所々散亂ノ状ヲ呈セシモ他ハ依然頑強
ニ抵抗シ我歩兵ノ突撃ハ尙困難ニシテ而シテ砲兵彈藥特
ニ野砲彈ハ殆ント欠乏ヲ告ケントス此ニ於テ臼砲ノ射撃ヲ集中
シ其成果ヲ待テ突撃ヲ前進ヲ行フトナリ終ニ午後七時ニ至ル此時
我歩兵ハ三百乃至三百米突進ニ接シアリ全砲兵ハ更ニ最後ノ猛

火ヲ行フ此ヲ全線期セ入シテ總及撃手トナリ歩兵戰威ニ起リ
夜ニ入ルモ尚止マス此ノ如クシテ其夜〇時三十分頃終ニ敵陣ヲ突入
シテ其第一線僅皇ヲ奪取シ全線一萬歳ヲ連呼シテ壯烈ヲ
極メタリ

此日停車場附近ノ放火益々熾盛ナリ

四日午前二時第六師團ノ一部ハ停車場第四師團ノ一部ハ遼陽
西北端ヲ台領シ尚進ニテ太子河ノ線ニ向ヒ敵ヲ進撃セリ敵ハ終ニ太子
河右岸ニ退却ス此際鉄道橋ハ燒夷セラレタリ然ルニ對岸ハ尚ホ
敵ノ歩兵若干アリシヲ以テ消火スルコト能ハサリシ

軍ハ第六師團ヲ以テツヤハンツヤニ附近ヲ以テ第四師團ヲ以テ鉄道橋ヨリ
下流太子河ノ左岸ヲ台領センヲ其他ヲ第六師團ニ集合剋心頓中シ
テ戰勝ノ結果志氣益々旺盛ナリ
此戰鬪ニ於テ敵ノ兵力編組及彼我ノ死傷等ハ目下取調中

此戰聞情況ニ就テ判断スルニ敵ハ首山堡附近ノ陣地ヲ固守シ
極力我軍ニ軍ノ前進ヲ拒止シ以テ他方面ニ於テ攻勢ヲ取リ
茲ニ決戦ヲ試ミタルガ如シ而シテ遼陽附近第三線ノ抵抗ハ
第一軍ニ對スル敵軍ノ側背ヲ安全ナラシムルガ為メ時間ノ余裕
ヲ得ンコトヲ劾メタルモノナラン全般ニ就テ今回敵ノ防戦ハ
實ニ死守的ニシテ決シテ退却ノ意圖ナカリシコトヲ推知シ得
可シ
今回未曾有ノ大會戦ニ於テ終ニ全局ノ勝利ヲ得タルハ偏ニ
陛下ノ衝稜威ニ由ラズンハアラス而シテ此連日連夜ノ激戦
ヲ続行シ能ク艱苦欠乏ニ堪ヘ若戦奮闘シタル將校下
士率ノ堅忍不拔ナル行動ハ實ニ賞嘆ニ堪ヘサル所ナリ
右特ニ報告ス